個票

（担当部課　教育庁学校教育局学力向上推進課）

番号・指標名　53　**全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国以上の教科数**

■指標掲載箇所

- 基本方向　2 誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　（2）教育・学び
- 政策の方向性　成長段階に応じた質の高い保育・教育の提供

■指標説明

- 何を測る指標か

  本道の子どもたちに必要となる資質・能力の育成に向けた取組成果

- 指標の説明（定義・算出方法）

  「全国学力・学習状況調査」において、道内平均正答率が全国を上回った教科の数（小学校6年生　国語・算数、中学校3年生　国語・数学の全4教科）【4月調査時点】

（データ情報）

- データ出典

  北海道教育委員会「全国学力・学習状況調査　調査結果のポイントについて」

  https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/

  掲載箇所 「2. 結果の概要」―「各教科の平均正答率」

  公表時期　毎年7月頃、同年4月の調査結果を公表（2023年4月時点分は2023年7月公表）

■目標

現状値	中間目標値	目標値
(2023年)	(2028年)	(2033年)
0	4	4

（単位：教科）

- 目標値設定の考え方

  義務教育の機会均等の観点から、本道のどの地域においても一定水準の学力を保障することが重要であるが、本年度の調査結果では全ての教科で全国以下となっているため、全ての教科で平均正答率を全国以上とすることを目指す。

■参考データ

- 過去の推移

（全国平均を100とした時の全道平均の値）
（2020はコロナ禍のため未実施）

■　小学校

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021	2022
国語A	98.5	97.3	97.4	98.5	99.2	98.4	97.7	98.2
国語B	95.3	96.3	96.9	97.9	96.3			
算数A	97.1	96.1	97.0	98.3	98.0	96.8	96.2	96.7
算数B	94.8	94.4	94.3	94.8	94.6			

■　中学校

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021	2022
国語A	100.0	100.0	99.3	99.1	100.7	99.0	99.8	99.4
国語B	97.8	99.8	97.7	99.3	100.0			
数学A	97.9	97.8	99.4	98.6	98.2	97.2	97.7	95.1
数学B	99.3	95.4	98.2	97.5	97.7			

- 現状値の内訳

  管内別　小・中学校の国語、算数・数学の平均正答率が全国以上の教科数

	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	ｵﾎｰﾂｸ	十勝	釧路	根室
2023年	0	0	3	0	0	0	0	3	2	0	0	0	2	1	0

個票

（担当部課　　教育庁学校教育局健康・体育課）

番号・指標名　　54　**体力・運動能力の全国比**

■指標掲載箇所

- 基本方向　　2　誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　　（2）教育・学び
- 政策の方向性　成長段階に応じた質の高い保育・教育の提供

■指標説明

- 何を測る指標か

  生涯にわたって心身の健康を保持し豊かな生活を送るための体力向上に向けた取組成果

- 指標の説明（定義・算出方法）

  「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点の全国平均値を50とした場合の北海道の値（小学校5年生、中学校2年生）【4～7月調査時点】

（データ情報）

- データ出典

  北海道教育委員会「『令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査』調査結果のポイントについて」

  https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/174967.html

  掲載箇所　2　実技に関する調査（T得点）

  公表時期　毎年12月頃、同年4～7月の調査結果を公表

■目標

現状値	中間目標値	目標値
（2023年）	（2028年）	（2033年）
小学校男子　49.6	50	50
女子　49.4	50	50
中学校男子　48.2	50	50
女子　47.0	50	50

（単位：点）

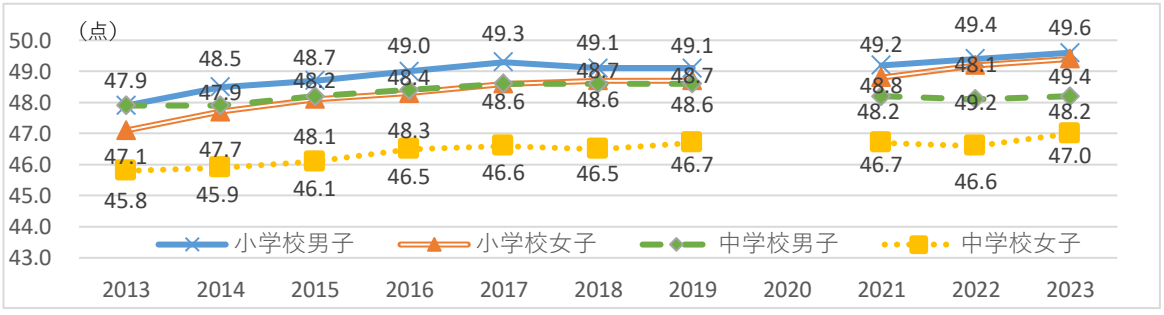
- 目標値設定の考え方

  過去5年間の全国との差の推移では、小・中学校ともに全国平均を下回っているため、全国の同世代の児童生徒と同水準の体力・運動能力を保持できるよう、全国平均を目標とする。

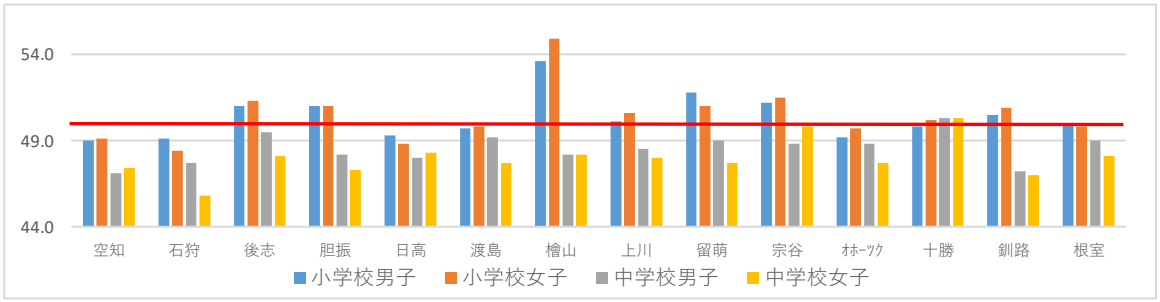
■参考データ

- 過去の推移

（2020はコロナ禍のため未実施）



- 現状値の内訳（令和5年度（2023年度））



個票

（担当部課　　教育庁学校教育局高校教育課）

番号・指標名　　55　　**キャリア教育に資する体験的な学習活動の実施率**

■指標掲載箇所

- 基本方向　　2　誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　　（2）教育・学び
- 政策の方向性　　可能性を引き出す教育の推進と学ぶ機会の保障

■指標説明

- 何を測る指標か

  社会の変化に対応できる資質・能力を育成するキャリア教育の取組成果

- 指標の説明（定義・算出方法）

  道立高校の卒業生のうち、在学中にインターンシップなどのキャリア教育に資する体験的な学習活動を経験した割合【年度実績】

（データ情報）

- データ出典

  北海道教育委員会「北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」

  https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/tenken/

  掲載箇所　施策項目6「キャリア教育の充実」－［指標の状況及び評価］

  公表時期　毎年8月頃、前年度実績を公表（2022年度分は2023年8月公表）

■目標

現状値	中間目標値	目標値
(2022年)	(2027年)	(2032年)
42.7	88.0	100

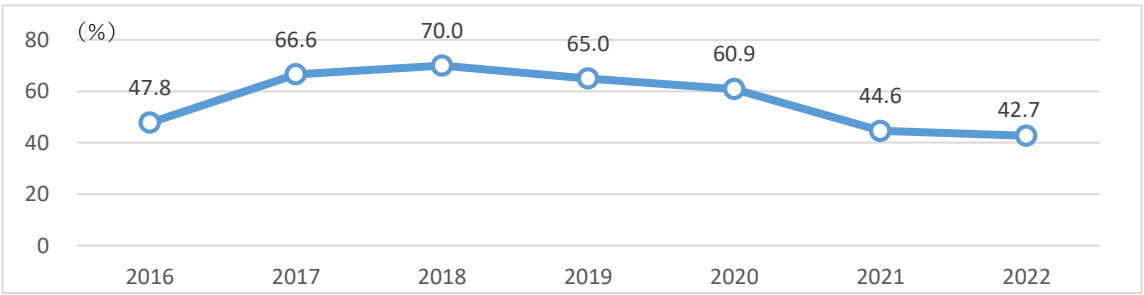
（単位：%）

- 目標値設定の考え方

  コロナ禍によりインターンシップ等が実施できなかったことから減少。今後は、各学校において計画的なインターンシップ等の実施が見込まれることから、100%を目標とする。

■参考データ

- 過去の推移



- 現状値の内訳

管内	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホ	十勝	釧路	根室
2020	58.2	38.7	79.3	63.5	95.5	89.8	100	68.0	99.3	98.9	79.6	80.0	81.0	64.9
2021	49.6	26.4	39.4	31.2	91.6	77.7	99.4	55.4	35.1	100	63.5	72.8	52.8	44.0
2022	53.8	24.3	76.3	51.3	54.4	83.1	100	45.4	36.2	52.5	60.1	40.8	49.3	44.0

個票

（担当部課　教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課）

番号・指標名　56　**授業におけるＩＣＴ機器の活用率**

■指標掲載箇所

- 基本方向　2　誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　（2）教育・学び
- 政策の方向性　可能性を引き出す教育の推進と学ぶ機会の保障

■指標説明

- 何を測る指標か
  ICTを効果的に活用した授業を一層推進した学びの質の向上の状況
- 指標の説明（定義・算出方法）
  児童生徒一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でほぼ毎日活用した学校の割合【４月時点】

（データ情報）

- データ出典
  北海道教育委員会「全国学力・学習状況調査　調査結果のポイントについて」
  https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/
  掲載箇所　「全国学力学習状況調査」ー「全国学力・学習状況調査　調査結果のポイントについて」ー「５．１人１台端末の活用について」
  公表時期　毎年7月頃、同年4月の調査結果を公表（2023年4月時点分は2023年7月公表）

■目標

現状値	中間目標値	目標値
（2023年）	（2028年）	（2033年）
小学校　76.6	100	100
中学校　70.1	100	100

（単位：%）

- 目標値設定の考え方
  2023年の現状値と、１年間当たりの増加率を踏まえ、ICT環境の最大限の活用を目指す。

■参考データ

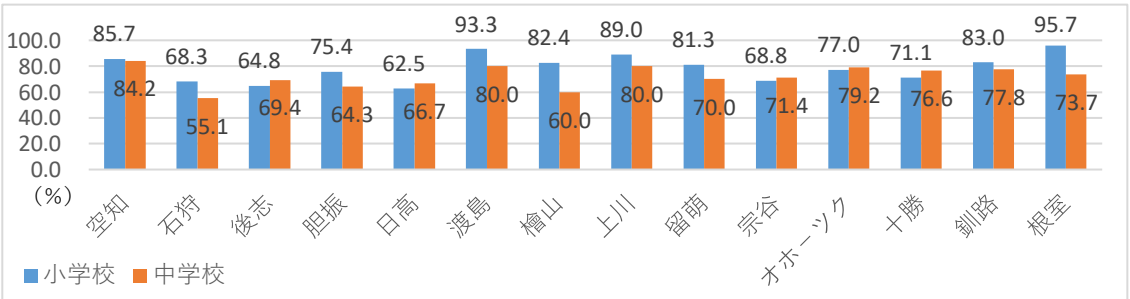
- 過去の推移

（単位：%）

		2022	2023
小学校	道	69.9	76.6
	国	58.2	65.2
中学校	道	63.7	70.1
	国	55.5	62.6

※ICT機器の活用率は「全国学力・学習状況調査」において2022年度から調査開始

- 現状値の内訳



個票

（担当部課　　教育庁生涯学習推進局社会教育課）

番号・指標名　　57　**生涯学習の成果を活用している住民の割合**

■指標掲載箇所

- 基本方向　　2　誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　　（2）教育・学び
- 政策の方向性　可能性を引き出す教育の推進と学ぶ機会の保障

■指標説明

- 何を測る指標か

  地域における多様な学びの機会や個々の資質や能力を更新できる学びの場を充実させる取組の成果

- 指標の説明（定義・算出方法）

  １年間に生涯学習した人のうち、知識・技術や経験をまちづくりやボランティア活動などに活かしている人の割合【11～12月時点】

（データ情報）

- データ出典

  北海道教育委員会「北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」

  https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/tenken/

  掲載箇所　施策項目27「生涯学習の振興」－［指標の状況及び評価］

  公表時期　毎年8月頃、前年11～12月時点の活用状況を公表（2022年11～12月時点分は2023年8月公表）

■目標

現状値	中間目標値	目標値
（2022年）	（2027年）	（2032年）
59.5	80.0	80.0

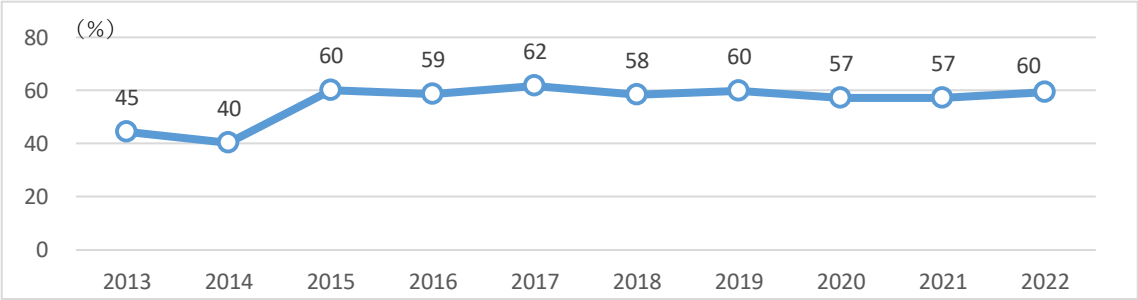
（単位：%）

- 目標値設定の考え方

  ここ数年は約60%で推移しほぼ横ばいとなっていることから、引き続き道民の学習機会の充実に資する取組を支援するとともに、多様な人々が主体的に参画できる包摂的な社会の実現を目指す。

■参考データ

- 過去の推移



- 現状値の内訳

  新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、住民の地域活動や社会参加活動の場面が少なくなったが、住民が主体的に地域課題に取り組むことを後押しする役割を担う指導者の養成をオンラインにより実施するなど、内容の改善・充実を図った結果、受講者数の増加につなげることができた。

個票

（担当部課　　教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課）

番号・指標名　　58　**いじめはいけないことだと考える児童・生徒の割合**

■指標掲載箇所

- 基本方向　　2　誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　　（2）教育・学び
- 政策の方向性　子ども・青少年の健全な育成

■指標説明

- 何を測る指標か
  児童生徒が主体的にいじめの未然防止に取り組む態度の育成に向けた取組成果
- 指標の説明（定義・算出方法）
  いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童・生徒の割合【４月時点】

（データ情報）

- データ出典
  文部科学省「全国学力・学習状況調査（児童生徒質問紙調査）」
  https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html
  掲載箇所　「報告書・調査結果資料」―「全国学力・学習状況調査【都道府県別】および【指定都市別】調査結果資料」―「01 北海道」―「回答結果集計［児童質問紙］北海道－児童（公立）【表】」及び「回答結果集計［生徒質問紙］北海道－生徒（公立）【表】」―質問「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する回答１（当てはまる）と回答した児童・生徒の割合
  公表時期　毎年7月頃、同年4月の調査結果を公表（2023年4月時点分は2023年7月公表）

■目標

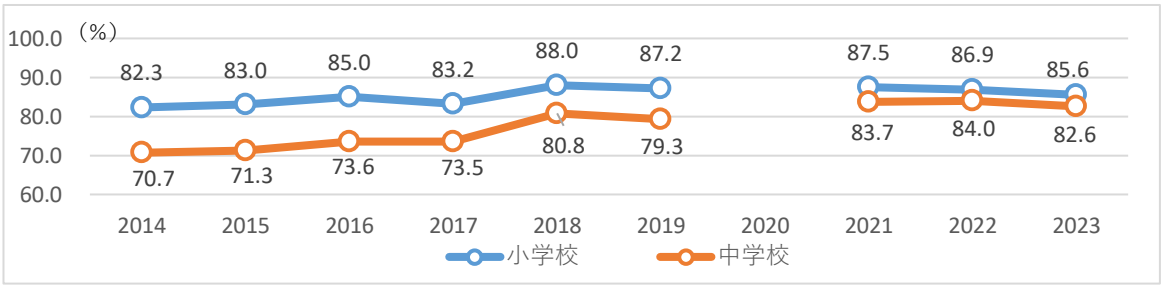
現状値	中間目標値	目標値
（2023年）	（2028年）	（2033年）
小学校　85.6	100	100
中学校　82.6	100	100

（単位：%）

- 目標値設定の考え方
  過去５年間、概ね横ばいで推移しているが、児童生徒が主体的にいじめの未然防止に取り組むという態度の育成に向け、全ての児童生徒の意識の醸成を目指す。

■参考データ

- 過去の推移



※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「全国学力・学習状況調査」が中止となったため、実績なし

- 現状値の内訳
  ■管内別結果

2023	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	ｵﾎｰﾂｸ	十勝	釧路	根室
小学校	88.3	91.0	88.7	88.2	84.8	84.9	90.8	93.6	86.7	85.4	85.4	84.2	90.7	84.5
中学校	84.0	85.6	84.5	86.6	86.6	85.7	81.1	91.6	83.3	78.4	80.7	86.5	83.8	82.3

個票

（担当部課　　教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課）

番号・指標名　　59　　**いじめの解消状況**

■指標掲載箇所

- 基本方向　　2　誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　　（2）教育・学び
- 政策の方向性　子ども・青少年の健全な育成

■指標説明

- 何を測る指標か

  いじめの早期発見・早期対応に向けた取組成果

- 指標の説明（定義・算出方法）

  学校がいじめを認知した件数に対し、学校の対応によりいじめ行為が解消した件数の割合【年度実績】

（データ情報）

- データ出典

  文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

  https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/mondaikodo_chosa.html

  掲載箇所　「公立小・中学校、高等学校、特別支援学校のいじめ」―「いじめの解消状況」

  公表時期　毎年10月頃、前年度実績を公表（2022年度分は2023年10月公表）

■目標

現状値	中間目標値	目標値
（2022年）	（2027年）	（2032年）
小学校　92.6	100	100
中学校　92.2	100	100
高校　93.6	100	100

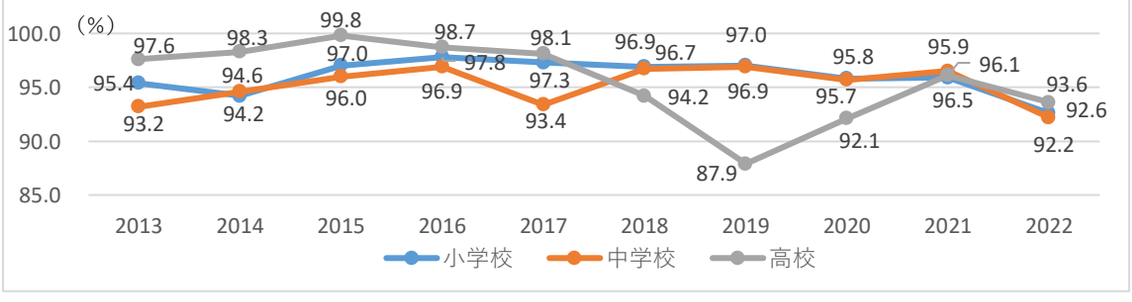
（単位：%）

- 目標値設定の考え方

  過去5年間、概ね横ばいで推移しているが、児童生徒が安心して過ごせる居場所づくりを推進するため、認知したいじめは解消する必要があり、解消率100%を目指す。

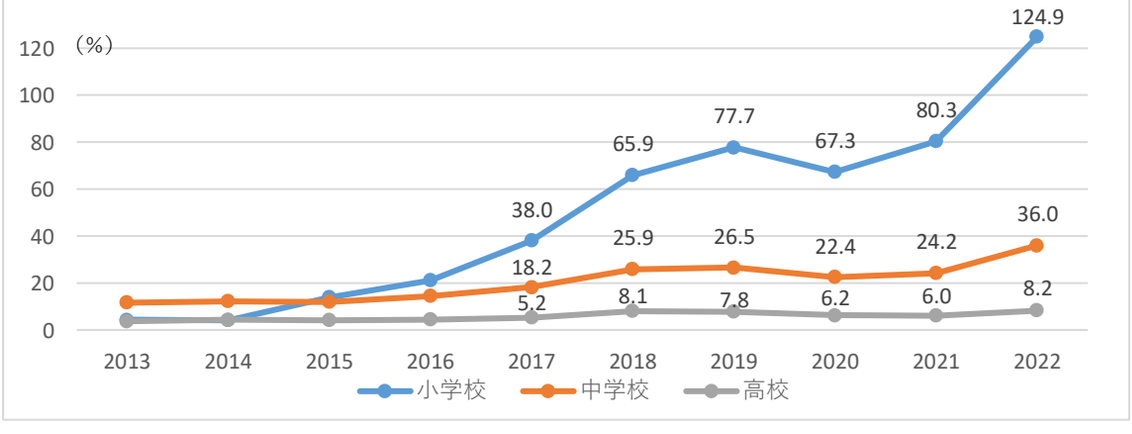
■参考データ

- 過去の推移



- 現状値の内訳

  参考　1,000人当たりのいじめ認知件数



個票

（担当部課　保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課）

番号・指標名　60　**少年千人当たりの刑法犯少年数**

■指標掲載箇所

- 基本方向　2　誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし
- 政策の柱　（2）教育・学び
- 政策の方向性　子ども・青少年の健全な育成

■指標説明

- 何を測る指標か
  青少年の非行や犯罪を防ぐ環境づくりの推進に向けた取組成果
- 指標の説明（定義・算出方法）
  14～19歳の人口千人に対する犯罪少年の割合【暦年実績】

（データ情報）

- データ出典
  北海道保健福祉部ホームページ
  掲載箇所　未定
  公表時期　毎年3月頃までに、前年の暦年実績を公表予定

■目標

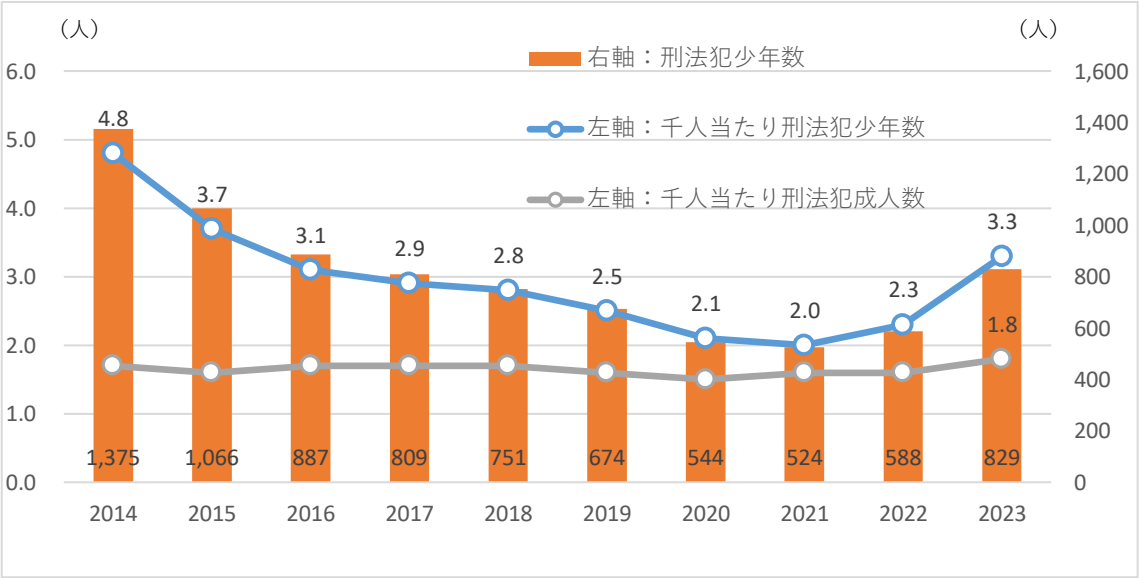
現状値	中間目標値	目標値
(2023年)	(2028年)	(2033年)
3.3	1.8	1.6

（単位：人）

- 目標値設定の考え方
  道内の犯罪少年数（千人当たりの人口比）は2015年は3.7、2021年は2.0と半減したが2022年は2.3と増加。青少年が健全に育成される社会の実現を目指し、刑法犯の成人人口比（道内、2022年）を目標とする。

■参考データ

- 過去の推移



- 現状値の内訳
  内訳なし